

# 「慰安婦」問題ゆがめる意見書強行



2015年10月25日 -8号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 自民党 強硬派の暴挙

県議会6月定例会最終日の10月6日、自民党は議員発議で「慰安婦問題に関する適切な対応を求める意見書」を突如提案しました。その内容は、「慰安婦問題を認め謝罪を表明した河野平官房長官談話について、朝日新聞が虚偽だとして取り消した記事の影響があるので新しい政府見解の発信を求める」と

いう趣旨のもので歴史の事実を直視しないものとなっています。本会議の採決では、自民党と無所属議員の賛成多数で可決されました。県政クラブは退席し、日本共産党県議団と公明党議員が反対しました。

日本共産党県議団を代表し、閣僚議論が反対討論に立ち、「そもそも河野談話は朝日新聞報道の吉田証言を採用していない。調査によると慰安所の設置運営に軍や政府が関わり、慰安



10月14日 国民連合政府の提案について懇談

閣議は、反対討論と同時に、意見書を提案した自民党の県議に対する質疑の通告も行いました。しかし、結果的に「山形県議会の先例、申し合わせにより意見書などに対する単独質疑は認められない」と質疑はできませんでした。

## 国民連合政府の暴挙

「戦争法案」の国会での強行採決と呼ぶのかのように県議会での自民党の多数横暴振りが際立ちます。それに対し県民世論を代弁し、県議会のあり方にも一石を投じた日本共産党県議団の姿が鮮明になったと思えます。

## 河野談話の真実

河野談話は、朝日新聞報道の吉田証言を採用していないのですから、前提が誤っています。ではなぜ「慰安婦」が政治外交問

## ゆり子の視点 選挙が続いています

私自身の選挙は、春に終わりましたが、山形市長選をはじめ周辺自治体の選挙が問題になったのでしょうか。1990年代に慰安婦問題で大きな被害を被った韓国から「強制連行を認めよ」という訴えが様々な形で提起されました。元「慰安婦」の方が、勇気をふりしぼって証言し、日本政府を相手に補償請求訴訟を提起しました。日本国内でも真相究明を求める運動が起こりました。こうした事態を受け、日本政府は調査に乗り出し、資料も明らかにされ河野談話にいたっています。その後、加害国である日本の司法の場で「慰安婦」とされる過程の強制性、慰安所での強制使役の事実が認定され、河野談話の真実性を裏付ける結果となつていきます。

## 国民連合政府 よびかけ懇談

10月14日、日本共産党山形県委員会、高橋千鶴子衆院議員を迎え、戦争法廃止の国民連合政府の提案について6団体と懇談し、私も同席しました。高橋議員が提案を説明し、参加者からの質問に答えました。提案については、「タイムリーだ」「戦争法反対の運動を継続し、広げなければならぬ。」「などの感想や今後の活動に対する積極的な姿勢も示された懇談となりました。



河野談話は、歴史の真実を直視しない意見書は女性の人権を否定するものとの国際的批判を免れません。県政史上に残した汚点を残したと思えます。



年金者一揆に参加 あいさつする渡辺県議

続いています。山辺町、中山町、天童市と応援に駆けつけ、10月15日には、宮城県議選応援に仙台市に行つてきました。宮城県議会では、いハンドマイク宣伝をしてきました。そしてそれを国政につなげて行きましよう。この選挙の勝利が住みます。

## 国民連合政府の暴挙

私は、この間、労働組合や団体の集会やあいさつなどでも日本共産党の国民連合政府の提案について紹介し、よびかけるよう勤めています。16日には、年金者組合の全国一斉の「若い人も高齢者も安心できる年金制度を」(「年金者一揆」)の集会に

参加し、激励と連帯のあいさつを行いました。その中でも国民連合政府の提案について触れ、安倍政権の社会保障改悪反対の闘いと合わせともががんばろうと呼びかけました。